

浦幌新聞



2021年（令和3年）
8月25日（水曜日）

発行元

特定非営利活動法人
うらほろスタイルサポート

こだわりの 野菜畑が完成！



【浦中央小】6月8日（火）に、上浦幌中央小学校3・4年生が学校の畑に野菜を植えました。植えた野菜は、じゃがいも・にんじん・玉ねぎ・トマト・ピーマンなどで、どれも子どもたち自身で育てたいものを決めため、3・4年生のこだわりが詰まった畑が出来上がりました。中でもじゃがいもは、色や特徴などから育ててみたい種類を決

め、植えつけました。シャドークイーン、インカのめざめ、レッドムーン、キタアカリ、デストロイヤーの5種類で、種芋は地域の方々に分けていただきました。どの野菜も種や苗を植えるだけでなく、マルチを畑に張る、支柱を立てるなどの工夫をし、立派な畑が出来上がりました。快晴で気温も高い中でしたが、子どもたちは真剣なまなざしと慣れた手つきで手際よく作業を進めていました。

上浦幌の大きな魅力の一つに広大で豊かな農地、そこで採れる野菜があると思います。これから子ども達は野菜を育てることに挑戦するだけでなく、浦幌自慢の野菜や農業についても調べていく予定です。

（地域おこし協力隊 見山夕莉）

映像制作に挑戦！ 中学生 360度カメラで撮影



映像制作のための絵コンテを作成



うらほろ森林公園で撮影！

【浦幌中】浦幌中学校の2年生4名が、地域おこし協力隊十勝うらほろ創生キャンプ担当の続麻知子さんと一般社団法人十勝うらほろ楽舎のヤングスタッフである伊場遥さんと、越坂佑平さんと一緒に、「うらほろパーク浦幌」に撮影する映像を制作しました。6月から7月にかけて全5回行い、中学生が自分たちで映像内容の構想を考え、実際に撮影も行いました。撮影当日は2つのチームに分かれて、うらほろ森林公園や上浦幌の牧場などを訪れ、360度撮影できるカメラを使って撮影をしました。最終日には、撮影した映



映像作品の発表会

像を「うらほろパーク浦幌」でスクリーンに映し出し、中学生たちが自分らの言葉で、映像作品についての発表を行いました。当日は保護者の方々や学校の先生方、フォレストデジタル株式会社の方々などが見に来られ、迫力のある映像を見て驚いていました。

中学生たちは今回の映像制作を通して、改めて浦幌町の自然の魅力を知ったり感じたり、新たな発見があったりと、さまざまな学びを得ることができました。

（地域おこし協力隊 上野結子）

町内小学校で農園活動

J Aうらほろ青年部と一緒に

じゃがいもや 白花豆など 計7種類

【浦幌小】6月8日(火)に浦幌小学校の体育館西側にある畑で、農園活動が行われました。3年生と6年生が、J Aうらほろ青年部のみなさんに、野菜の植え方や畝を作る理由などを教えてもらいなが



トラクターに興味津々！



立派な畝を作るぞ！

ら、一緒に野菜を植えました。最初に、J A青年部の方がトラクターで畑おこしをしました。その様子を目の前で見ていた3年生は、「あ〜！すごい！かっこいい！」と目を輝かせていました。その後、トラクターの仕組みについての説明をしていただき、子ども達は実際に運転席に乗せてもらう体験をしました。みんな機械に興味津々で、トラク

ターの前には長い行列ができていました。また、多くの子ども達がJ A青年部の方に野菜や農業機械についての質問をし、大変盛り上がっていました。

3年生は、じゃがいも・白花豆・枝豆・玉ねぎ・人参・きゅうり・トマトの計7種類の野菜を植えました。6年生は、じゃがいもを植え、手際よく作業を進め、高くて立派な畝を作っていました。

3年生が秋に収穫する野菜の一部は、町内の飲食店にご協力いただき、たくさんの方に食べていただく予定です。

6年生は、修学旅行で浦幌町のPRをしたあと、話を聞いてくださった方へのお礼として、じゃがいもを渡す予定です。

どちらの学年の畑でも、元気にのびのび育ち、美味しい野菜ができてほしいです。
(地域おこし協力隊 上野結子)

メイクインなど じゃがいも 4種類

【上浦中央小】上浦幌中央小学校で、6月11日(金)にJ A青年部との交流授業が行われました。今回は1年生と2年生が、J Aうらほろ青年部の北原宏樹さん、石原正将さんと一緒に、4種類のじゃがいも(メイクイン・シャドークイン・レッドムーン・北海こがね)を植えました。子ども達は北原さんと石原さんから、じゃがいもの種芋の置き

方や土のかぶせ方などを教わりながら、ひとつひとつ丁寧に植えていました。じゃがいもを等間隔で植えることができるよう、学年ごとに分かれて1列に並び、一人ひとり順番に自分の長靴のサイズで距離を測っていました。植え終わった後は、1年生と2年生が協力して、じょうろでたっぷり水をあげていました。今後、芽が出て花が咲き、実が成長して、秋には子どもたちが笑顔で収穫できる姿を見られるのがとても楽しみです。
(地域おこし協力隊 上野結子)



学年ごとに分かれて植えました



みんなで集合写真

※写真撮影時のみマスクを外しています

うらほろバスツアー

北海道教育
大学釧路校
人とのつながりの大切さ
大人の姿を見せる大事さ
学ぶ



元木農場の元木一彦さんと記念撮影

6月27日(日)
と7月4日(日)
に、北海道教育大
学釧路校の学生
18名が町内を巡
るバスツアーを
行いました。学生
を半数にし、2つ
の日程に分かれ
て行い、バスツ
アー中は常にマ
スクを着用し、こ
まめに消毒を
行ったりと、感染
症対策を徹底し
ました。

6月27日(日)は、上浦幌公民館からスタートし、鈴木信男館長にお話を伺いした後で、上浦幌の地域おこし協力隊の拠点である「すみかへ」へ。その後、おかだ農園で岡田愛啓さんから民泊体験学習への想いや子ども達の様子についてお話をいただきました。

7月4日(日)は、中央公民館からスタートし、高橋慎館長から地域学校協働本部や通乗(学)合宿などのお話をいただいた後で、まちなか農園でハマナスの収穫体験をしたり、ハハハホステルの前で小松輝さんから「若者のしごと創造事業」についてのお話を伺いました。その後、TOKOMURO Labで北村林業の北村昌俊さんから、まちづくりや次世代へと繋ぐ活動についての講話をいただきました。

両日とも昼食はTOKOMURO Cafeで、浦幌産の新鮮な野菜や鹿肉を使ったランチをいただき、浦幌の食の恵みを堪能していました。午後からは複合施設FUTABAで、近江幹太さんから、うらほろスタイルで印象に残っていることやなぜ浦幌に戻ってきたのかという経緯、そして今浦幌で挑戦していることについてのお話をいただきました。大学生の皆さんは、もっと詳しく聞きたいことや疑問に思ったことを手を挙げて質問をしていました。その後、元木農場で元木一彦さんから焼きたてのじゃがいもをいただきながら、地域の大人の子ども達との向き合い方やCS事業の「うらほろGO!」などについてのお話を伺いました。他にも道の駅を見学したり、レストランURATIEの佐藤紀毅さんとお話したりと、大学生の皆さんはそれぞれの日程で、浦幌町やうらほろスタイルなどについての学びを深めました。たくさんのお話を聞きながら、積極的に質問をし、意欲的に学んでいる様子が見られました。



※写真撮影時のみマスクを外しています

複合施設FUTABAで近江幹太さんと記念撮影

今回のバスツアーを通して、黒田乃愛さん(地域文化研究室2年)は、「浦幌町は人がつながる場がたくさんある町だと感じました。印象に残っているのは北村さんのお話で、新しい木材をあえて古い木材風加工する新しい挑戦をしており、人とのつながりが新しい挑戦を生みだすエネルギーになっていくのだな」と思い、私も人とのつながりを大切にしていきたい」と思っています。

また、吉田圭佑さん(地域教材開発研究室2年)は、「近江さんと元木さんのお話を聞いて、うらほろスタイル教育を9年間受けてきた子ども達は、地域の大人の方々が本気で向き合ってくれる姿を見て育ったということを知り、そういった大人の姿を見せ続ける事がどれだけ大事なことが」身に染みて感じたそうです。

今後も北海道教育大学釧路校の学生の皆さんが、浦幌町で学ぶ機会がありましたら、ぜひ温かく迎え入れていただけたらと思います。(地域おこし協力隊 上野結子)